

地域周産期母子医療センター

- ・産科病棟
- ・NICU（新生児集中治療室）

当院では、急変等に対応できるように「産科医、新生児科医、救命医、麻酔医、助産師」が24時間常駐しております。

当院では、陣痛の痛みを和らげる方法の一つとして**無痛分娩**を行っております。

詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのWebサイトをご覧ください。

分娩：60万円～ 無痛分娩：72万円～



産後ケア宿泊型サービス「アイルーム」 (武蔵野市事業)

出産後の「こころからだの休息」と「リフレッシュ」を目指しています

【施設利用金額】
母子1組 1泊2日 70,000円～ 母子1組 1泊2日 10,000円～

・武蔵野市民の方で、産後ケア事業の対象になる方には助成があります。
事前に武蔵野市に登録申請を行い、「利用登録書」の交付を受けご予約ください。
詳しくは武蔵野市健康課（0422-51-0700）にお問合せください。
詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのwebサイトをご覧ください。

<https://www.musashino.jrc.or.jp> 〒180-8610 武蔵野市境南町1-26-1 ☎0422-32-3111

武蔵野赤十字病院

Eye むさしの

頼れる病院をめざします

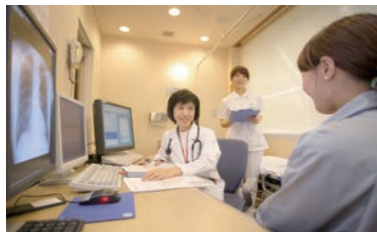
自分が自分らしく
生きるために。

健診センターからのお知らせ

「土曜日」開設の人間ドックご案内

●平日は忙しくて！という方向け

平日は忙しくて健診を受けられない方（65歳以下）を対象に、土曜日の人間ドックを開設いたしました。



—申し込み方法—

電話予約または直接健診センターへの来院予約

月曜日～土曜日 午前9時～午後4時
(但し年末年始12/29～1/3及び5/1は除く)

電話番号 0422-30-5638 (直通)
または0422-32-3111 (代)

「平日」開設の認知症ドックご案内

●頭の問題を意識する方向け

体の健康だけでなく、頭の問題を意識する方向けに、認知症に重点をおいた認知症ドックを平日に開設いたしました。



健康管理の一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。

お待ちしております。
★詳しくは病院ホームページ→
「人間ドックのご案内」で紹介しています。



基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

日本病院会副会長を拝命しました



日本病院会は昭和26年に創立され、医の倫理の確立と病院医療の質の向上を目指して活動されています。

わが国の病院医療をめぐるさまざまな課題を検討し、行政と交渉したり会員相互の情報共有を行っています。

2020年より新型コロナウイルス感染の拡大によって全国の病院は運営に大変苦勞していますが、お互いに対応について情報を伝えあい、連絡しあって地域社会に貢献できる体制を話し合っています。

私は人材育成担当の副会長ですが、医師の働き方改革が勧められ人材育成が最も重要な時期になっています。日本病院会の代表として討議する機会が多くなり、他の病院と意見交換しながら、よりよい医療体制の構築のために尽力してまいりたいと思っています。

武蔵野赤十字病院の運営は大変ですが、今後さらに日本病院会の他の病院と協力しあって社会に貢献できる医療体制を作るように努めてまいりたいと思います。



副会長(人材育成担当)
●泉 並木
東京【武蔵野赤十字病院】

Japan Hospital Association ■ 日本病院会 役員名簿 (2021年5月22日～2023年5月開催予定の定期社員総会の日まで)

役職名	氏名	県名	病院名	経営主体
会長	相澤孝夫	長野県	相澤病院	社会医療法人
副会長 (会長代行)	岡留健一郎	福岡県	済生会福岡総合病院	済生会
	万代恭嗣	東京都	北多摩病院	医療法人
副会長 (総務担当)	仙賀 裕	神奈川県	茅ヶ崎市立病院	市町村
副会長 (医療政策担当)	島 弘志	福岡県	聖マリア病院	社会医療法人
副会長 (人材育成担当)	泉 並木	東京都	武蔵野赤十字病院	日赤
副会長 (情報発信担当)	大道道大	大阪府	森之宮病院	社会医療法人

院長 泉 並木

～人生会議 ACP をご存知ですか?～

ACP とは

- A: アドバンス 前もって (将来に備えて今からスタート!)
- C: ケア 医療・介護のケア (日々の暮らしから考えてみよう!)
- P: プランニング 計画を立てる (話し合う過程が大切!)

将来の自分の変化に備えて、あなたの人生観や生きがいを考え、医療や介護のことについて準備しておくことは大切です。

ACPは自分が自分らしく生きていくため、周囲の信頼する人たちと話し合い共有することが重要です。

武蔵野赤十字病院では、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) に取り組んでいます。

当院におかかりの患者さんやご家族のみなさまに向けて、外来や入院病棟で「人生会議 ACP」のポスター掲示・パンフレットの配布を始めます。

あなた自身や家族、大切な人の ACP について、病院スタッフチームと話し合ってみませんか?

ご不明な点・ご相談は、主治医又は担当看護師にお気軽にお声かけください。

私たちは、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) に取り組んでいます

～あなたは、どのように過ごしたいですか? 自らが望む、医療・ケアについて話し合ってみませんか?～

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて考え、信頼できる人、医療者と一緒に話し合い、共有する取組を「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます。

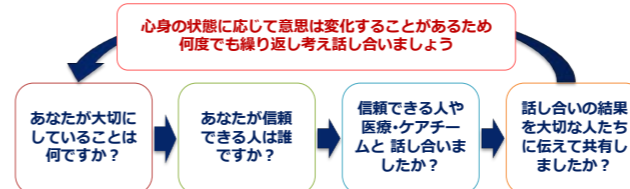
誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなるといわれています。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い共有することが重要です。

結論を出すのではなく、話し合いながら、共に進んでいくことを私たちは大切にしています。



話し合いの進め方(例)



ご不明な点・ご相談は、主治医または担当看護師にお声掛けください。

武蔵野赤十字病院 倫理問題検討委員会 2021.5作成
厚生労働省ホームページのご参照もしくは、お住いの自治体でご案内もご利用ください

左記、実際に配布されているパンフレットを
ご覧いただき主治医または担当看護師に
ご不明な点はお相談ください。

倫理問題検討委員会
患者相談室長 奥津 啓子